

東京都調布市生まれ

2003

早急な気候変動対策を求める若者の運動  
Fridays For Future オーガナイザー  
Climate Live Japan 共同代表

2020

#石炭火力発電を輸出するって本当ですか  
#気候危機止めるために学校休みます  
Climate Clock プロジェクト  
「ATO4NEN」キャンペーン

2021

record 1.5 代表  
慶應義塾大学総合政策学部 在学

2022~

山本 大貴

YAMAMOTO DAIKI







明日を生きるための  
**若者気候訴訟**

日本のCO2排出量の約3割を占める**主要電力事業者のCO2排出削減を、若者16人の原告が求める民事訴訟**



**2019年比2030年48%、2035年65%のCO2排出削減を求める。**



# 原告

全国の15～29歳  
の若者16人




# 被告

株式会社 JERA、東北電力株式会社、電源開発株式会社（Jパワー）、関西電力株式会社、株式会社神戸製鋼所、九州電力株式会社、中国電力株式会社、北陸電力株式会社、北海道電力株式会社、四国電力株式会社

出典：明日を生きるための若者気候訴訟HP (<https://youth4cj.jp/>) より



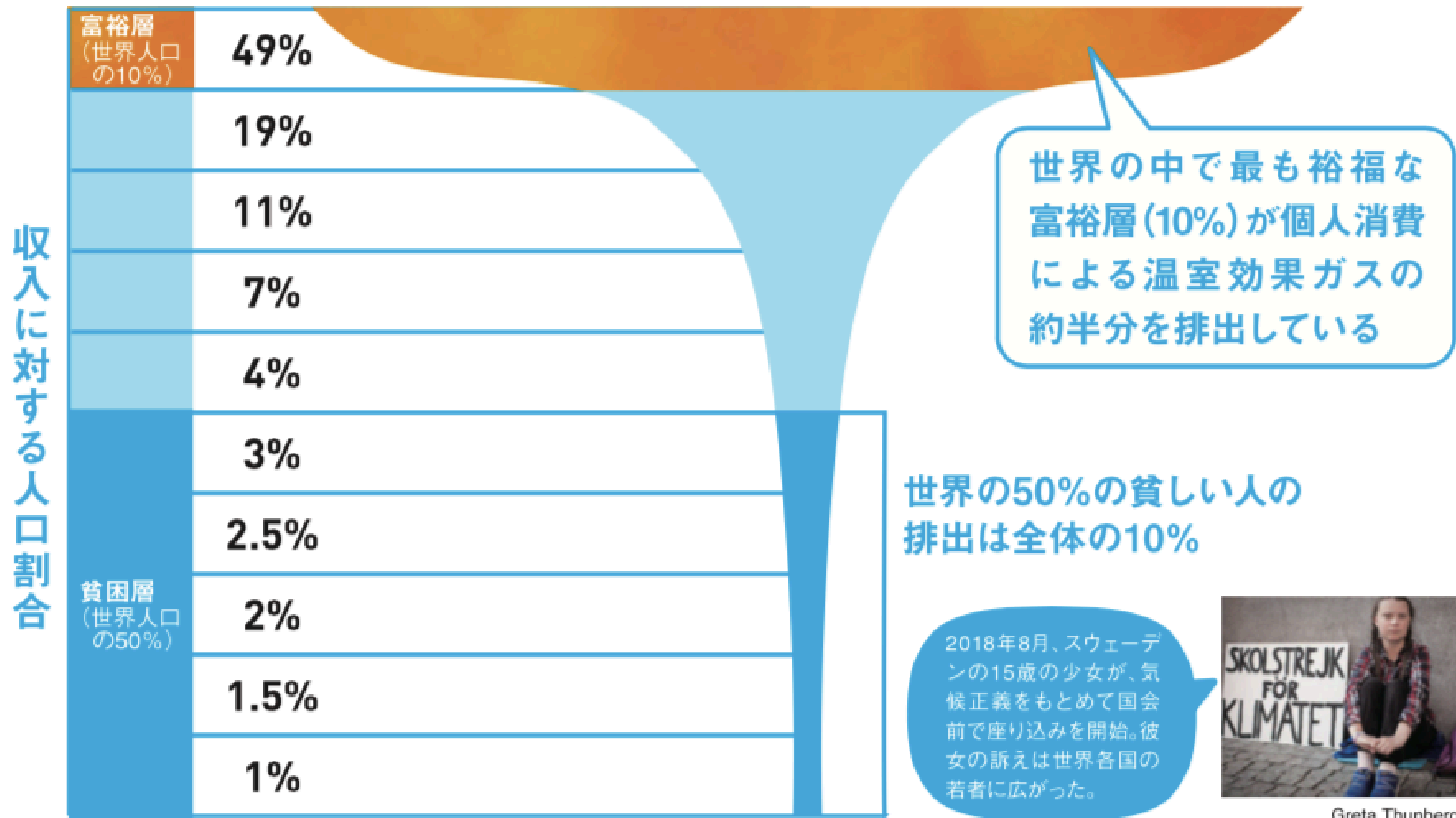


被告らは、原告らの請求は内容が一義的に定まってい  
ない「**将来の請求**」であって、現在、民事訴訟で訴えることので  
きる請求ではないと主張。

世界では、2022年末までに2,180件の気候訴訟が提起されてい  
る。2023年8月、**米国・モンタナ州の若者気候訴訟が勝訴。韓  
国の訴訟でも画期的決定が下された。次は日本...？**



# 世界人口と温室効果ガス排出量



出典: Oxfam "Extreme Carbon Inequality" 2015



# 問題の本質は「人権侵害」

気候難民

南北問題

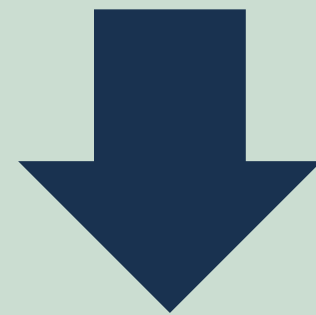
貧困

ジェンダー格差

世代間格差



**格差構造**から恩恵を受ける人々による  
そうでない人々への**静かな暴力**



解決するための、Climate Justice（気候正義）



# 【第2回口頭弁論期日】

2025年2月18日（火）

13:10～13:25 整理券配布

13:30～ 入廷行動

14:00～ 口頭弁論期日

内容：原告による意見陳述、弁護団による訴状要旨陳述

場所：名古屋地方裁判所

定員：100名程度（満員の場合、抽選）

